

農水産業の活性化を目指す ヤンマーグループ2社と協定

2月15日、ヤンマーアグリノベーション(株)、ヤンマー農機販売(株)中四国カンパニーと瀬戸内市は、地域づくり連携協定を締結しました。この協定により、市とヤンマーグループ2社は連携し、知的・人的・経営的資源を活用できるようになります。

国際競争時代に対応する地域活性化戦略の策定や農水産業の担い手の育成・確保、遊休農地の活用、地域ブランドの構築などの市が抱えるさまざまな課題に迅速かつ的確に対応し、農水産業を中心とした産業や文化の活性化を目指して取り組みを進めます。



協定を締結後、橋本康治ヤンマーアグリノベーション(株)代表取締役社長(写真右)・塚原寛仁ヤンマー農機販売(株)中四国カンパニー社長(写真左)と握手を交わす武久頭也市長

ネパールへの理解を深めました

DBOC料理教室



講師から料理の手ほどきを受ける参加者(右上) / できあがったネパール料理など(左下)

2月18日、中央公民館(邑久町尾張)で、瀬戸内市の国際交流を推進する会「DBOC」が、カルカ・グレンさん、ゴダールデウ・バハダルさんらを講師に迎え、ネパール料理教室を開催しました。ターメリック、クミン、チリ、コリアンダーなどを混ぜ合わせたマサラ(香辛料)の香りが会場に立ち込めるなか、約40人の参加者は、チキンヌードルスープとハウレンソウのスパイス炒めづくりに挑戦しました。

参加者は、講師との交流や料理づくり、食後に行われた音楽演奏や民族衣装の試着などを通じてネパールへの理解を深めました。

地域防災力の強化を 宝くじ助成金を活用して防災資機材を整備

(財)自治総合センターの宝くじ助成金(地域防災組織育成助成事業)を活用し、福元グリーンタウン自主防災会が、炊き出し用の煮炊きレンジやテント、発電機、投光器、資機材を収納する倉庫など防災資機材を整備しました。

同自主防災会では2月12日、避難訓練のほか炊き出し訓練を行いました。今後も、防災の研修会や訓練などの地域防災活動で活用します。

自主防災組織を結成している団体であれば、宝くじ助成金を利用できます。詳しくは、地域安全推進室へお気軽にご相談ください。

■問い合わせ先 地域安全推進室 ☎0869-22-3904



購入した資機材を使って炊出し訓練を行った福元グリーンタウン自主防災会

cover photograph

今月の
表紙



2月4日、牛窓町漁協(牛窓町牛窓)で牛窓冬の味覚まつりが行われました。カキのほか、ゲタやメバル、タコなどの新鮮な地魚が格安で販売されるとあって、会場は朝早くから大にぎわい。「殻付きカキ詰め放題」では、制限時間の3分以内に少しでもたくさんのカキをかごに詰め込もうと奮闘する姿が見られました。

安全・安心な瀬戸内市を

瀬戸内市暴力団排除条例制定総決起大会



読み上げられた暴力団排除宣言を満場一致で採択

2月9日、ゆめトピア長船で、瀬戸内市暴力団排除条例制定総決起大会を開催し、市内の事業者や警察・行政関係者など約300人が出席しました。

瀬戸内警察署管内暴力追放推進連合会長の武久頭也市長が、「市民総ぐるみでの取り組みをお願いしたい」とあいさつ。その後、暴力団のいない安全・安心の瀬戸内市の実現を図る暴力団排除宣言が満場一致で採択されました。

また、講演では吉沢徹弁護士が「不当要求には2人以上で対応し、自分たちだけで対処が難しい場合は弁護士や警察に相談を」などと具体的な対処方法について説明しました。

夢中で笑って歌ったひととき

親子で楽しむ絵本の世界 あきやまただしえほんライブ

2月11・12日、絵本作家のあきやまただしさんを招き、「あきやまただしえほんライブ」と題して、絵本の読み聞かせやギター演奏を行いました。11日は牛窓町公民館図書室で、12日は中央公民館で行いました。

読み聞かせでは、あきやまさんが大きな声でテンポ良く語り、体全体を使って絵本の場面を表現。

ギター演奏に合わせてあきやまさんが「どんな色が好き？」と尋ねると、子どもたちからは「にじ色」などの回答も飛び出しました。参加した親子連れらは、一緒に歌ったり、声を出して笑ったりしながら、楽しい絵本の世界を味わいました。



子どもたちとの掛け合いで盛り上がったギター演奏(左上) / 体全体で絵本の場面を表現(右下)

